

まちの話題



1月3日、伊佐市文化会館にて「平成25年伊佐市成人式」が開催されました。華やかな振り袖や新調したスーツを身にまとった新成人が、友人たちと久しぶりの再会を楽しんでいました。

式では、新成人487人を代表し黒瀬茅夏さん（田中）があいさつし、恩師から届けられたビデオレターや幼いころの写真がスクリーンに映しだされると、歓声が起こり当時の思い出を懐かしんでいました。市長をはじめ多くの来賓の皆さんに見守られるなか、夢と希望に満ちた若者たちが新たな一步を踏み出しました。



めのもち飾り

鹿児島県の伝統行事である「めのもち飾り」がふれあいセンターのステージ上に登場しました。

めのもち飾りは、小正月である1月15日の前日に飾られるのが習わしで、紅白のお餅をエノキいっばいにさして飾ります。餅の形や色は地域によってそれぞれ異なりますが、五穀豊穰、無病息災を祈願するもので、伊佐市でもいたるところで見ることができます。



ふれあいセンターにある「めのもち飾り」は、毎年ふれあいサークルのメンバーに作成していただいています。ふれあいサークルでは、サークル活動ばかりでなく、七夕や十五夜など年間を通して伝統行事があるたびにふれあいセンターで飾りを作ったり、さまざまなボランティア活動も行っています。

ぜひふれあいセンターにお立ち寄りいただき、めのもち飾りをご覧ください。

剣の修練の成果を競う



1月14日、第34回菱刈剣道大会が、菱刈農業者トレーニングセンターで行われました。

県内外から92チーム（小学生男子38、女子16、中学生男子24、女子14チーム）遠く、大阪府からも参加があり、日頃の稽古の成果を競いました。

センター内には、気合いのこもった掛声と竹刀で打ち込む鋭い音が響きました。これからの若い剣士たちの活躍が楽しみです。

試合結果は次のとおりです。

【小学生男子の部】

- 優勝 穴師剣道会（大阪府泉大津市）
- 準優勝 日当山剣道A（霧島市）
- 第3位 南月少年剣道クラブ（鹿児島市）
- 第3位 平佐西小剣道スポーツ少年団（薩摩川内市）

【小学校女子の部】

- 優勝 野田剣道スポーツ少年団（出水市）
- 準優勝 あさぎり翔成館（熊本県あさぎり町）
- 第3位 三船剣道スポーツ少年団（始良市）
- 第3位 下水流剣道スポーツ少年団（出水市）

【中学生男子】

- 優勝 鹿児島KMK（鹿児島市）
- 準優勝 南月少年剣道クラブ（鹿児島市）
- 第3位 日当山中学校（霧島市）
- 第3位 あさぎり中A（熊本県あさぎり町）

【中学校女子】

- 優勝 川内中央中A（薩摩川内市）
- 準優勝 出水中学校（出水市）
- 第3位 高尾野中学校（出水市）
- 第3位 皇徳寺中学校（鹿児島市）

おはなし隊がやってきた♪



たくさんの絵本を積んだキャラバンカーで全国におはなしを届ける「おはなし隊」が1月16日、曾木小学校にやってきました。

おはなし隊は、1997年に講談社90周年記念事業「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」としてスタートし、各都道府県を1か月かけて巡回しています。今回の巡回では離島も含め県内で50か所が予定されており、そのうちの1つに曾木小学校も選ばれました。

キャラバンカーには、およそ550冊も本が積載してあり、子どもたちが自由に本を手に取り読んでいました。また、紙芝居や絵本の読み聞かせも行われ、招待された紅洋保育園の園児たちと一緒に夢中で話を聞いていました。

井上雄彦氏

「コスモポリタン賞」受賞



「スラムダンク」、「バガボンド」等の作品で世界的に知られる伊佐市出身の漫画家、井上雄彦氏が昨年12月に奈良市で開催された「アジアコスモポリタン賞文化賞」を受賞されました。

この賞は東アジアにおける文化面、経済面で大きな社会貢献があった人に贈られるもので、日本人唯一の受賞者となりました。そんな井上氏から、大口小学校の創立140周年記念に対し、代表作「スラムダンク」の主人公「桜木花道」とお祝いの言葉が書かれた色紙をいただきました。子供たちは偉大な大先輩から届いた思いがけない贈り物に喜び、お礼の手紙を送りました。

井上氏の作品は、同氏の寄付を基に設置された大口図書館の「井上児童文庫」でご覧いただけます。

叙勲「瑞宝双光章」受章



針持健一郎さん（猶原・88歳）が瑞宝双光章を受章されました。

この勲章は、長年にわたり学校教育や社会教育に従事され、教育の振興に寄与された方に授与されるものです。

針持さんは、一貫した教育理念と卓越した見識・情熱をもって、生徒の健全育成および教育の振興に貢献されたことが評価され受章されました。「おめでとうございます。」

伊佐で国体開催を実現させよう！



昨年12月22日～24日、九州カヌー連盟主催の合同合宿が、湯之尾にある菱刈カヌー競技場で行われ、九州各地から集まった24団体およそ260人が1往復3kmのコースで競い合うように練習に励みました。

参加者は、ジュニアから世界クラスの選手とさまざまで、普段一緒に漕げない選手との練習を新鮮に感じながら、互いに刺激し合い質の高い練習で有意義な合宿となったようでした。

菱刈カヌー場は、天候の影響を受けにくく理想的な練習場だと評価が高く、市では平成32年度鹿児島国体のカヌー競技会場誘致に向けて取組みを進めています。

新型消防車運用開始



伊佐湧水消防組合南消防署に導入された新型「災害対応特殊水槽付消防ポンプ車」が1月18日から運用開始しました。

この消防車は、「キャフスシステム」を装備した2,000リットル水槽付消防ポンプ車で、少量の水で消火効率が良く、火災現場で起こりうる水損という二次災害を軽減することができます。また、この消防ポンプ車は「緊急消防援助隊の消火隊」に登録しており、大規模災害が発生した場合は、要請により被災地へ出動する消防ポンプ車です。

※キャフスシステムとは、消火用の水に少量の消火薬剤と圧縮空気を自動的に混合発泡し消火が行える装置。

「福島の子どもと過ごそう！わくわく自然体験ツアー in 伊佐」

福島県南相馬市の3家族が1月3日、3泊4日で伊佐市を訪れました。

NPO法人「トータルサポートネットワーク」が無料招待したこのツアーは、市の助成と市内企業や個人からの募金で実現しました。

市内観光のほかに“十曾子どもの森”や“沖田黒豚牧場”などで自然体験を満喫した3家族は、原発によって失われた日常を伊佐の地で思い出し、久しぶりの外遊びを楽しみました。3日目は、南永小学校の児童とボール遊びや木工細工などで交流したあと小学校に宿泊。翌日は、伊佐での楽しかった思い出を胸に福島への帰路につきました。

